

住みなれた地域で、いつまでも… 在宅生活をさせます



下諏訪町社会福祉協議会 訪問介護事業所

下諏訪町社会福祉協議会「訪問介護事業所」は、“利用者様に寄り添った、心のこもった支援”をモットーに、現在16名（内、介護福祉士4名、調理師2名）の訪問介護員が、訪問させていただいております。

訪問介護員は、介護保険制度・障害者自立支援法に基づき、要支援・要介護認定を受けた高齢者及び障がいをお持ちの方のお宅を訪問して、食事や入浴、排泄、衣服の着脱や移動などの支援や調理、洗濯、掃除、買い物などの援助や代行を行います。

また、下諏訪町社会福祉協議会訪問介護事業所は、24時間体制で取り組んでいます。今後もより良いサービスを皆様に提供していくことを目指していきます。お困りのことがありましたら、お気軽にお声をおかけください。

私たちが訪問いたします!!



毎月、研修会・チーム会を開き、介護の質の向上に努めています。(写真は、移乗の研修の様子です。)

【下諏訪町内の訪問介護事業所の一覧です!!】

事業所名	所在地	TEL
諏訪共立ヘルパーステーション	矢木町1 134	28-2499
月岡ケアサービス訪問介護事業所	東赤砂4644-2	28-7650
ヘルパーステーションなでしこ	東山田第1 社6747	27-9146
カーサ・デ・ソル	南四王6150-4	27-3850
ケアサポートふきのとう	御田町3134-7	28-5307
聖母ケアサポート	西高木10616-10	26-2700
介護24諏訪	栄 町5031	75-5424
下諏訪町社会福祉協議会	大 門3 162-4	28-8292

社協だより8月号2ページ目 訂正

介護保険サービスの矢印が無い部分がありました。

起き上がるのが大変になって
しまって。寝たままでもお風呂
には入れるのかなあ。

「訪問入浴サービス」をご利用下さい。

浴槽を用意していきますので、ベッドの横でお風呂に入れます。



下諏訪町社協 訪問入浴事業所 TEL 28-8292

寄稿

知ってほしい わが愛しの い せい じん 偉星人

その78

キャンプへの思い

今年の夏も、忘れられない思い出となる経験があった。偉星人たちのキャンプである。自閉症児を持つ家族が感じていること…それは「孤独感」である。どうせ、障がいのことを解ってもらえるはずがない。知っている人と知らない人との間に流れる深く大きな河…それを感じずにはいられない。

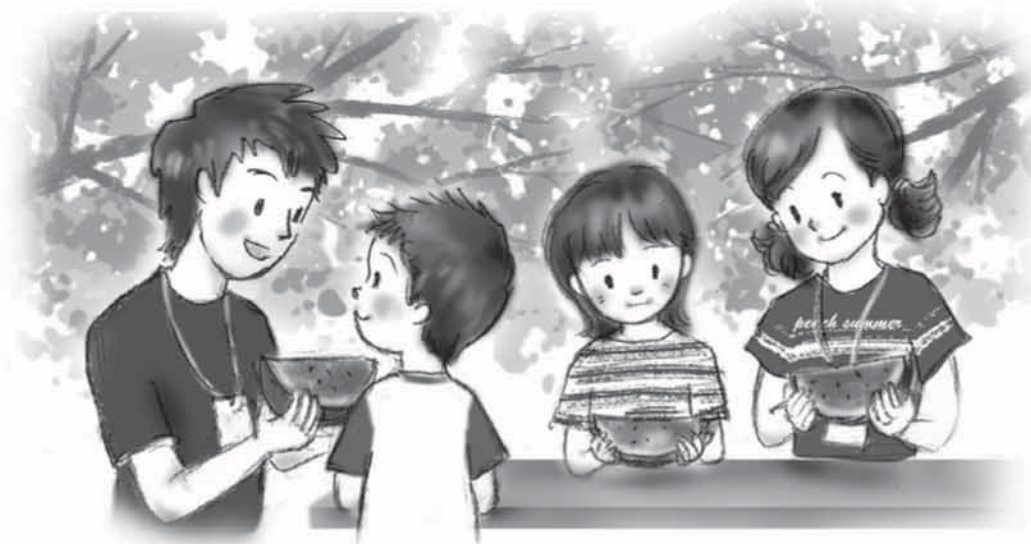
息子が4歳の頃、先の見えないトンネルの中で、人生に絶望しながらも参加してみたキャンプがあった。ある福祉団体の企画した夢のようなキャンプ。そこで不思議な経験をした。そこではボランティアさんが進んで息子と一緒に過ごしてくれる。親は親で初めて子供と離れて自分たちの素敵な時間を与えられる。当然息子は慣れない環境でパニックの連続になる。けれども、一緒になってわかろうとしてくれるボラさん…普段は企業の若い力として仕事に奮闘されているだろう方たちが、その日は息子の事をわかろうと必死で付いて来てくれる。

帰り道、車中でボラさんから渡された手紙を読み、涙が止まらなかった。生んでも良かったのだ…何故か素直にそう思えた瞬間だった。人はやはり、人に支えられて生きていかれるのだ…と思った。同じ境遇の親子にもぜひこれを経験してもらいたい、地元でもキャンプがやりたい、と思った。

それから毎年、地元で療育キャンプを行っている。幸いなことに、諏訪の平には福祉大やいくつかの看護学校がある。時には、中学生や高校生にも頼ってしまうこともある。ボラさんから頂くエネルギーは、計り知れない。

今年のキャンプのボラさんは福祉大のお姉さんたち、諏訪養護学校の先生方含め27名のボラさんと、家族の総勢60名で行われた。カレー作りをしたり、レクリエーション、キャンドルや花火を楽しむという企画。彼らは必至で自閉症児と2日間向かい合っていた。どうしたらよいのが迷ってしまい、時には辛くて泣きたくなる事もあっただろう。

そしてまた今回、彼らから手紙をもらった。また、涙が出た。わかろうとしてくれる、その気持ちで、家族はあったかくなり、幸せな気持ちにさせられる。



※編集にあたり、加筆・修正しております。

(下諏訪地区障害を持つ親の会 会員)